

編集後記

編集長 小西 敦

武藤伸明学部長の巻頭言にあるように、今年度で本学部の西野勝明特任教授、池田哲夫教授が退任なさいます。このお二人の先生は、本学部の発展に特別のご貢献をいただきました。誌面を借りて、お礼申し上げます。

西野先生は、この3月に『構造変革期の地域マネジメントと地域創生』（時事通信出版局）を上梓なさるご予定です。現時点では、未読ですが、タイトルから拝察するに、壮大なスケールの視点に立ったご高著で、今から拝読するのが楽しみです。西野先生の授業に参加なさった方々はもとより、多くの方々が手に取られることと思います。

池田先生は、これも、武藤学部長の巻頭言にあるように、経営情報イノベーション研究科の博士課程前期及び博士課程後期の両方の設置にも、大きくご貢献くださいました。静岡県内では、博士課程後期を有する大学院はまだ少ない状況です。地域の人材育成における高度で専門的な教育の重要性を考えると、本大学院が博士号取得可能な大学院であり、本学部が本大学院と一体として運営されていることに、大きな意義があると思います。

さて、COVID-19やウクライナ情勢以外の当面の重要政策課題として、「デジタル田園都市国家構想」があります。これは、「地方からデジタルの実装を進め、新たな変革の波を起こし、地方と都市の差を縮めていくことで、世界とつながる」（2021年11月9日内閣総理大臣決裁「デジタル田園都市国家構想実現会議の開催について」）ものとされています。

こうした政策課題の解決において、「文系・理系の垣根を越えて、ビジネスや公共、観光など社会の各領域でのイノベーションに寄与する問題解決型の人材を育成」（本学部ウェブサイト）する本学部の役割はますます高くなると思います。

本紀要は、こうした本学部の研究成果の一端を示すものです。

本号へ原稿をお寄せくださった皆さま、本号の発行にご尽力くださった皆さま、特に、タイトな日程の中で、事務作業を行ってくださった増子かおり様にお礼を申し上げます。

本紀要が、今後も、政策課題の解決の一助となることを願っています。本学部に関係する皆さまからの意欲的な論放のご寄稿をお待ちしております。